

5/14 災害時における協定を締結
●市役所本庁舎

災害などに対する備えと迅速な対応を目指し、市は、福島県葬祭業協同組合と福島県霊柩自動車組合との間に「災害時等における葬祭用品の調達、遺体の処理及び搬送等に関する協定」を締結しました。



▶(左から)締結式での青木かおる同協同組合理事長と渡辺章同自動車組合長

5/14・15 ヤフーで白河フェア開催
●東京都千代田区

特別ランチメニューの提供や市の特産品を販売

本市にデータセンターがある縁から、IT大手ヤフー本社で『白河フェア』が開催されました。社内レストランでは、白河ラーメン・白河高原清流豚ステーキ重・地元こんにやくを使用した小鉢が特別メニューとして提供され、白河産コシヒカリや地酒などの特産品も販売されました。

当日はダルライザーなども駆け付け、会場を盛り上げました。



①特別メニューを味わう同社社員
②市の特産品が並んだ販売ブース



5/1・15 中学校図書館をリニューアル
●表郷中・五箇中

学校司書を配置し蔵書をデータベース化

表郷中(5月1日)と五箇中(15日)で、学校図書館リニューアルオープン記念式典が行われました。市は、学習に必要な知識や情報を収集・活用できる能力を育てるため学校司書を配置し、児童生徒の読書活動を支援しています。今後も、全小中学校に学校司書を順次配置する予定です。



①新しいシステムで本の貸し出しを体験(五箇中)
②リニューアル記念式典でのテープカット(表郷中)

5/9 住宅金融支援機構と協定を締結
●市役所本庁舎

子育て世代や移住を検討中の方に朗報!

市は、住宅金融支援機構との相互協力に関する協定を締結しました。これにより、市が行う「来て『しらかわ』住宅取得支援」「三世代同居・近居住宅支援」「空き家改修等支援」の補助金と併せて、同機構の住宅ローン「フラット35 子育て支援型・地域活性化型」の金利優遇を受けられるようになります。また、東邦・福島・大東銀行、白河信用金庫においては、同ローンに関する融資手数料の引き下げ支援を受けられます。



▶締結式での清水俊夫同機構東北支店長と鈴木市長

5/10 国際交流事業帰国報告会
●市役所本庁舎

中学生が台湾での体験を語る

3月25日から28日までの4日間、中学生国際交流事業として台湾を訪れた市内の中学生13人が、現地での体験などを発表しました。

- ・相手に伝えようとする気持ちがあれば、ジェスチャーや表情でお互いに通じ合えることが分かった。
- ・世界共通語である英語の重要性を認識した。
- ・台湾の人々の優しさを感じることができた。
- ・今回の国際交流事業で得た経験をいかして、将来活躍したい。

中学生国際交流事業と台湾派遣のきっかけ

中学生国際交流事業は、異文化などに直接触れる体験を通して見聞を広げ、国際社会の中で活躍できる人材を育成することを目的に行われています。

台南市に白河区という地域があることから、同市へ中学生の交流をお願いしたところ、快く承諾してくださり、今回の派遣が実現しました。

★台湾訪問の様子(3月25日~28日)

《Day 1: 出発》

保護者や白河市国際交流協会役員などに見送られ、台湾へと出発しました。

《Day 2: 白河国民中学校での交流(台南市)》

見頃を迎えた木綿花道でサイクリングを楽しんだ後、白河国民中学校で交流会を行いました。

全校生徒から歓迎を受け、一緒に編み物の授業を受けたり、給食を食べたりし、言葉や文化の違いを体験することができ、有意義な交流となりました。

《Day 3: 台南市政府表敬訪問》

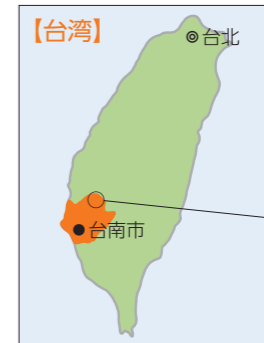
今回の交流の機会や手厚いもてなしをいただいた台南市政府(市役所)を表敬訪問しました。市政府内の国際交流ギャラリーを見学し、日本と台湾との関係を学びました。

《Day 4: 台北市見学~帰国》

台北市内を見学し、帰国の途につきました。到着後、出迎えた関係者たちに帰国を報告しました。



▲報告会に出席した関係者と中学生



台湾(人口 約2,300万人)
東京から約2,200km南西に位置。
台南市(人口 約189万人)
台湾の南西部にあり、37の行政区から成り立つ。オランダ・日本統治時代の古い建物も多く「台湾の京都」と呼ばれている。
白河区(人口 約3万人)
台南市の北東端に位置し、レンコンとその加工品が特産品。蓮公園や泥温泉が有名。なお「白河」の台湾での読み方は「バイホー」。



①木綿花道でのサイクリング ②全校生徒での歓迎会 ③編み物の授業風景 ④台南市政府表敬訪問 ⑤オランダ人によって築城された赤崁楼 ⑥国立故宫博物院